学校だより 菜の花

川崎市立長沢小学校
令和８年９月３０日
１０月号

前期末を迎えて

校長　　宮原　千恵子

長沢小 HP
（学年だより）

台風の発生や秋雨前線の停滞など、雨模様の日が続いています。秋は「実りの季節」と言われていますが、子どもたちにとっても学びの幅を広げる充実の時期です。外で遊べない日があっても、関心があるテーマに没頭して可能性を広げています。

先日、虫かごいっぱいのバッタを見せてくれた子がいました。バッタの名前や特徴を嬉しそうに教えてくれる姿は、立派な「バッタ名人」です。また、ダンゴムシについて夢中になって語り始める「ダンゴムシ名人」もいました。でも、この子はダンゴムシを持っていません。「虫かごの中じゃ（ダンゴムシが）かわいそうだし死んじゃうから、逃がしてきたよ。」という命を大切にする思いも伝わってきました。自分が好きなことには、夢中になって取り組むのが子どもたちの力です。「好きこそものの上手なれ」という言葉にもあるように、誰でも〇〇名人になれる可能性を秘めています。子どもたちの無限の可能性と、それらを取り巻く環境を守っていくことの重要性を改めて実感しました。

さて、いよいよ前期末を迎えます。5 月は全校で取り組んだ「長沢オリンピック」、6 月には 6 年生の日光修学旅行、7 月には 5 年生の「八ヶ岳自然教室」と大きな行事が続きました。慌ただしいスケジュールではありましたが、友達と協力して行事や学習に取り組むことで子どもたちは確実に成長できたと感じています。9 月には「SOS の出し方・受け止め方教育」を行いました。困難に対処できる心のもち方や他人も自分も大切にできる人間関係の作り方、不安や悩みがあると時には SOS を出しても大丈夫ということ、そして言葉にして伝えたり受け止めたりすることの大切さを学習しました。

9 日（金）の前期終業式の日に、「のびゆくすがた」をお渡しします。ここには学校生活や学習についての評価が記載されています。ぜひお子さんと一緒にご覧いただき、個人面談時の担任からの話と共にお子さんが取り組んだことや身に付いた力を確認し、励ましの言葉をかけていただければと思います。保護者の皆様の温かい言葉こそが、子どもたちを伸ばしていく大きなエネルギーとなります。また、改善した方がよいところやこれから頑張りたいこと等の見通しや目標を立てることで、より学びが深まり継続していきます。さらに、自己評価の力を育み、自己理解も深まります。お子さんのこれからの心身の成長を見守る機会としていただけますと幸いです。

後期には、「学校公開日」や学年ごとの「The 菜の花 day」、校外学習が予定されている学年もあります。一人一人がめあてをもって主体的に取り組むと同時に、協力することの大切さやみんなでやり遂げた充実感、達成感を味わってほしいと思います。更には、一人一人の自信につなげていくことができるよう支援していきます。

後期開始・始業式は、14 日（水）です。教職員も一丸となって教育活動を進めてまいります。皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。